

帯広市開拓130年・市制施行80年主催事業
帯広市文化スポーツ振興財団プレゼンツ



東京バレエ団 [バレエ・ガラ]

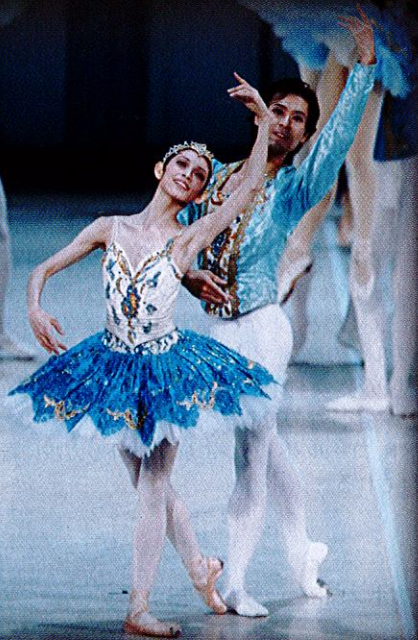
Ballet GALA

THE TOKYO BALLET

世界が認める
バレエカンパニーが魅せる
祝祭のステージ!!

「ギリシャの踊り」

DANSES GRECQUES



「テーマとヴァリエーション」

THEME AND VARIATIONS

「ボレロ」 BOLÉRO



Photos:長谷川清徳

2013.2.10 [日] 開場15:00 開演15:30 帯広市民文化ホール大ホール

【入場料】S席 8,500円 (1、2階) / A席 6,500円 (3階) / B席 4,500 (4階) [全席指定・税込]

【チケット取扱先】 帯広市民文化ホール「チケットらいぶ」
藤丸チケットぴあ、勝毎サロン、音更町文化センター
幕別町百年記念ホール、ローソンチケット(Lコード:13037)

※未就学児の入場はできません。託児をいたしますので公演の10日前までにお申し出ください
※お求めやすい料金にするために主催、特別協賛企業が入場料の一部を負担しています。

【主催】 一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団、帯広市教育委員会
【助成】 財団法人地域創造 [特別協賛] 株式会社柳月
【協力】 市民バレエティアラの会、帯広市民劇場運営委員会
【後援】 北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局
FM-JAGA、FM WING、帯広シティーケーブル

10月27日(土)
午前10時 前売開始



地球環境保護に対する取り組みとして、バイオマス発電を利用した、CO2を発生しないグリーン電力(自然エネルギー)4,500kwh今公演のすべてを運営しております。

一般財団法人 帯広市文化スポーツ振興財団

■お問い合わせ / 帯広市民文化ホール TEL0155-23-8111

ホームページ

世界の優れた芸術を十勝へ。柳月は十勝の文化事業を応援しています。

Ballet GALA 東京バレエ団 [バレエ・ガラ]

THE TOKYO BALLET



ボレロ (出演:上野水香)

振付:モーリス・ベジャール 音楽:モーリス・ラヴェル

装飾的な要素をいっさい排除し、赤い円卓の上の“メロディ”と周囲をとりかこむ“リズム”とがラヴェルの音楽を大胆に象徴するこの作品は、その簡潔さゆえに、踊り手によって作品自体が形を変える。あるときは美の女神とその媚態に惑わされる男たちの繰り広げる“欲望の物語”、あるときは異教の神の司る“儀式”……。聖と俗の間を自在に往き来し、踊り手の本質をさらけ出すこの作品は、初演以来半世紀の間に、多様な姿を見せてきた。

演出もさまざまであり、初演の際は、“メロディ”の女性を取り巻いて“リズム”の男性たちが配された。やがて男性の“メロディ”と女性の“リズム”、そして“メロディ”“リズム”ともに男性が踊る演出が生まれている。



テーマとヴァリエーション (出演:田中結子,柄本弾)

振付:ジョージ・バランシン 音楽:ピョートル・I. チャイコフスキー 「管弦楽のための組曲 第3番 作品55」より第4楽章

今世紀を代表する極めて重要な振付家であり、シンフォニック・バレエの創始者ともいわれるジョージ・バランシンの代表作のひとつに挙げられている。チャイコフスキーの「管弦楽組曲第3番」の最終楽章に振り付けられ、曲調といい振付といい、どこことなく『眠れる森の美女』を連想させるものがある。この作品はおそらく、サンクトペテルブルクの帝室マリインスキー劇場のバレエ学校で教育を受け、マリインスキー劇場において『眠れる森の美女』第1幕の子役で初舞台を踏んだバランシンにとって、ロシアの古典バレエ黄金期へのオマージュなのであろう。

男女1人ずつのエトワールを中心に、ソリスト、コール・ド・バレエがシンメトリカルに配置され、華やかな踊りが曲調の変化にあわせて次々と展開される。



ギリシャの踊り (出演:後藤晴雄)

振付:モーリス・ベジャール 音楽:ミクス・テオドラキス

地中海に面した港町、マルセイユに生まれたモーリス・ベジャールは、古代より幾多の文明を育んできたこの母なる海に魅せられ、自らを“地中海人”と捉えると同時に、自作の中でもたびたびテーマとして取り上げている。そのベジャールが地中海への憧憬ともいえる思いをストレートに託したのが、1982年にフランスのアルル闘技場で初演した「タラサ、われらの海(ギリシャの踊り)」である。

万物を生み出した生命の源としての海の、ふくよかな存在を表わすような女性たちの群舞。その上に広がる青い空ときらめく陽光、吹き渡る風を感じさせる、躍動的な裸体の若者たちの踊り。つぎつぎに繰り広げられるダンスは、古代からそこに営まれてきた人間の生そのものをも高らかに謳う。

Photos:長谷川清徳

東京バレエ団 (一行 70 名)

1964年に創設。創立以来一貫して、古典の全幕作品から現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを誇っており、なかでも現代バレエ界を代表する三大振付家——M.ベジャール、J.キリアン、J.ノイマイヤーが東京バレエ団のために振付けた作品は大きな成功を収めている。これまでに、25次710回の海外公演を行っており、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラなどヨーロッパの名だたる歌劇場に数多く出演し“日本の生んだ世界のバレエ団”として国内外で高く評価されている。2009年、創立45周年を迎えた。12年5月にはパリ・オペラ座ガルニエ宮で26年ぶりに『ザ・カブキ』を上演し、大成功を収めている。

※音楽は特別録音のテープを使用します。

MNOZIL. BRASS ムノツィル・ブラス金管七重奏

ジャズ、クラシック、オペラ、ダンス、笑い…。そのすべてを超越したものがそこにある。

今、最も熱いブラス・アンサンブルはこれだ!!!

2009年、全国で2万5千人を動員！驚異のブラスアンサンブル再来日!!

11月17日(土)
チケット発売予定

と き 2013.2.24(日) 16時開演予定 **と ころ** 帯広市民文化ホール大ホール

入 場 料 一般 3,000円・高校生以下 1,500円 全席自由

